

令和6年度 富島高等学校（全日制）学校評価

スローガン「全力 TOMIKO!」 ～ 地域社会と連携し、新時代を形成するために必要な学校教育の実践 ～				【学校関係者評価のポイント】
校訓 自立 友愛 創造	教育目標 己の個性を伸ばす 自立 の心を育て、 信頼と協調により 友愛 を深め、 心豊かな生活を目指して 創造力 を伸ばし、 知・徳・体の調和のとれた人材を育成する。		重点目標 志を持つ生徒育成のために (1)「頭」を鍛え、伸ばす(個に応じた学力向上と進路実現) (2)「心」を鍛え、育てる(心の教育の推進と充実) (3)「体」を鍛え、伸ばす(体の育成と食育・健康教育の推進)	具体的取組 (キーワード) (1) 確かな学力を育む教育の充実 (2) 多様な人材を育む教育の推進 (3) 学習環境の整備 (4) 読書の推進

重点目標	評価項目	具体的方策 又は 具体的指標	自己 評価	成果及び改善策	学校関係 者 評価	評価・具体的意見
①「頭」を鍛え、伸ばす (個に応じた学力の向上と進路の実現)	①学習環境の整備 と授業環境の支援を図る	○学ぶ意欲や授業態度を育成する ○手帳の活用 ○生徒の能力を伸ばす指導と学習の遅れを考慮した指導の推進を図る	B	○職員が相互に授業参観をしたり、自習中の生徒の様子を見たりする授業参観期間を月1回設けている。落ち着いた学習環境を整えることに繋がっている。また、定期テスト前に学習に遅れを感じる生徒に個別学習指導を行うなど学習支援を行った。 ○授業準備が確実にできるように、授業2分前に予鈴を鳴らしている。授業に臨む姿勢を作る効果もあるので今後も継続したい。生徒が授業に遅れることが少なくなり、落ち着いた雰囲気授業をスタートできている。 ○生徒に自己管理や能率アップを目的に手帳を持たせている。集会時のメモや時間割管理を行っている。	B	○職員が互いの授業を参観しあう中で、教科を超えて教授法(教え方)を参考にしあう土壌をさらに整えてほしい。 ○成果及び改善策が具体的に記載され、学習環境の改善取り組みが明瞭である。 ○相互に職員が行う授業参観の実施や予鈴の授業開始2分前取り組みなど、授業を落ち着いた雰囲気進められるような工夫が良いと思います。 ○生徒の授業に対する入り方や意識が良い方向を向くよう先生方の工夫を色々とお願ひしたいです。 ○2分前予鈴の効果が良い方向に表れているので今後も続けて欲しい。
	②授業力の向上を図る	○校内研修・校外研修へ積極的に参加し、授業力の向上を図る	B	○学習指導の研修や県主催の指導力向上研修へ積極的に参加し、授業力の向上を図っている。また、情報機器(ICT)を活用した授業が定着しており、教科間でも情報を共有しながら研鑽を積んでいる。 ○新学習指導要領の学習評価の方法など今後更に研修を積んでいく必要がある。	B	○是非、セカンドリーダーの教頭や主幹級の研修参加を充実させてほしい。 ○先生方には多岐にある能力が必要とされ日々大変なご苦勞をされていることと思います。引き続き授業の質の向上に期待します。 ○ICTを活用した効率よい学びが日常的になってきたことは有難いかぎりです。また、指導力向上の取り組みを積極的に図り、さらに生徒の学習意欲を上げていただけると嬉しいです。 ○やる気にさせる授業を是非お願いします。
	③専門教育の充実	○専門教育を充実させ、ビジネス教育や家庭教育の推進を図る ○ICTを活用した学習の充実を図る ○産学官連携・高大連携による専門的知識・技術の向上を図る	A B	【生活文化科】 ○1年生では、家庭科全般を学びながら「生活産業基礎」の科目で、進路意識を高めるために、卒業生や外部講師による講話を数回実施した。2・3年生は、コースでの学びを文化祭や地域イベントで発表を行った。 ○ICT活用に関して教科内での研修を行っていきたい。 ○コースごとで外部講師招聘や校外学習(被服:サザンビューティ専門学校、フード:南九州大学・マナビヤアカデミー専門学校、保育:宮崎短期大学)を実施し、より専門の学びを深めることができた。 【商業科】 ○昨年度に引き続き、外部との実践的・体験的な学習を行っており、日頃の学びを活かす場面が増えている。 ○ICT活用については、教科担任間での格差はあるが、Googleアプリ等を活用した授業展開を積極的に行っており、学びの個別最適化が実現できていると思われる。 ○専門学校(宮崎情報ビジネス医療専門学校)との連携事業にてより学びを深めることができている。	A	○文科省のデータでは、高校時代に ① 自分に向き合う時間が欲しかった ②将来に対するリスクを教えてほしかった。 が卒業後の意識調査では上位を占めている。その意味からも富島高校の取組は評価できる。 ○日向市内の小中学校の様子を見ると不登校児童生徒が増えており、その原因の一つが授業についていけないことである。ICTを駆使し、ぜひ個別最適化した学びへの工夫を続けてほしい。 ○幅広く地域と関わり学んでいる様子を拝見しました。 ○デジタル化を活用する社会に若い学生さんが高校で学ぶことは今後より重要性を増していくと感じます。 ○今後の改善策について記載があると良いのではないかと感じました。 ○外部講師を招いての授業や校外学習での連携など、積極的に取り入れていただくことで、生徒たちも今後の進路や就職に対する視野が広がると思います。 ○知らないよりも知っておいた方がいい知識は多々あると思うので、この取り組みは効果があると考えます。 また、ICT機器の活用は先生それぞれにバラツキが無いよう、同じ教科の若手先生がベテラン先生に対して指導するなど、相互に刺激し合うことも必要かと考えます。また、個別最適な学びを実現できるよう、Googleアプリ等を使って工夫されているようで心強いです。 ○今後も1人1人を大切する教育を目指しながら専門教育の充実を図ってください。

	④資格取得の推進	○資格取得を推進し、検定学習を通して、チャレンジ精神、問題解決力、学びに向かう力を醸成する ○生徒の理解度に対応した指導体制の確立を図る	B	【生活文化科】 ○家庭科技術検定やビジネス文書検定等の受験を通して、技術面とともに精神的な成長にも繋がった。今後は、生徒の実態を踏まえながら検定のあり方や指導方法について検討していきたい。 ○生徒の理解度に合わせて、授業の進め方や補習日を設け個別の指導を行った。	B	○日商簿記などの受験者総数が年々減ってきていると聞いている。 高校生にとって必要な資格と将来のメリット等、生徒に伝わっていると思うが、数的な改善などを期待したい。 ○検定受験や資格を取得するといった、具体的目標を持ちながら日々生活することが、充実した学校生活をもたらせてくれると思いますので、検定・資格の取得を一人でも多くの生徒に意識づけていただけるとありがたいです。 ○チャレンジ精神の向上に努めて欲しいです。
			C	【商業科】 ○検定試験に対する指導を強化するために職員間の教材共有や情報共有を進めている。検定取得の必要性を説き、個々に応じた目標設定を行う必要がある。 ○生徒の中には自学で高度資格を取得している生徒もいる。そういった事例を共有しながら指導を進めていきたい。 ○資格取得と体験的な学びの両軸で商業高校での学びを深めさせたい。		
	⑤キャリア教育の推進	○各教科の授業のみならず、全教育活動を通したキャリア教育を推進し、生徒の学ぶ意欲の喚起と学力の向上につなげる	B	○1，2年生のうちより、進路意識を高めるために、進路調べ学習や「キャリア教育の日」を実施できた。そのため、ある程度は効果が実感できたと感じる。ただし、一部の生徒ではあるが、進路意識を喚起した延長線上にある、学力向上についてはさらなる努力が必要な面が否めない。	B	○中学校での説明会などで学力の必要性を力説してほしい。高校入試突破後が大切だという意味で考えさせたい。 ○進路、キャリアと学習をつなげる動機付けが必要だと感じます。 ○キャリア教育の取り組みは、生徒が将来進むべき道を考える際に大きな指標となるものだと考えます。キャリア教育の充実を。
	⑥継続して就業できる社会人の育成	○インターンシップや校外への進学ガイダンス等、またボランティア活動の充実を図り、継続して就業する心構えを持たせる	B	○3年生の「総合的な探究の時間」で「働くこと」について意識を高めるために、労働法や就労関係についての時間を設けた。今年度も2年生の就職希望者のうちの一部の生徒にインターンシップを課し、就業についての心構えを、ある程度ではあるが、もたせることが期待出来る。1年生にも「キャリア教育の日」などを通して、就労することについて考えさせる。	B	○労基的なものではないが働く価値や意味について学ぶとき、日向市キャリア教育支援センターのよのなか先生をぜひ活用してほしい。 ○外部講師や関連企業との連携を密にし、生徒の将来を充実したものにさせていただくことを期待しております。
	⑦ICT教育の推進	○ICT活用を推進し、オンライン教育など新しい学びを推進する ○ICT環境の整備する	B	○ICT活用については、先生方が各教科の実態に合わせて活用することができている。 ○生徒の1人1台端末(iPad)については、授業での利用状況の差がある状況である。様々な活用法を自分で見出して活用できている生徒もいるので、各教科での効果的な活用法についてさらに検討していく必要がある。	B	○生徒のICT活用についての現状把握はモニタリング機能を使って把握できているだろうか？(日向市内の小中学校ではデジタルドリルの活用状況がモニタリングできる機能があるが十分に活用できていない。) ○学校でもインスタを積極的に活用され、学校行事を発信されていてとても良いと感じました。 ○ICTに関しては、端末の有無や性能の差による格差みたいなものが発生しないか心配なので、先生も生徒も効果的活用方法について、さらに研究いただけると幸いです。 ○良い活用法を生徒や教師で共有し、更なるレベルアップに努めて欲しい。
	(2) ①基本的生活習慣の確立 (心の教育の推進と充実) 「心」を鍛え、育てる	○規則正しい学校生活を送り、主体性・生命尊重の育成に努める ○集会等で、挨拶、礼儀、マナーの徹底、大切さを伝える機会を多く持つ ○各種専門委員会の活用の推進を図る	B	○学校全体や生徒の様子を見極めながら、機会を見て集会等を開き、学校生活の大切さを訴えた。常時指導が理想であり、全職員の共通理解と生徒自身に富高生としての誇りを持たせたい。 ○各種委員会の自主的な活動が十分ではない。生徒会総務と連携して、様々な行事や活動を生徒主体で運営できるように促していきたい。	B	○生徒に主体的で建設的な取り組みの場を今後も働きかけてほしい。 ○生徒の現状をしっかりと捉えられており、しっかり目標にコミットされています。 ○規則正しい生活や挨拶・礼儀・マナーの大切さを、就職を目指す生徒さんには理解していただきたいと思います。 就職後には最低限守らなくてはならない基本であるため…。

※ A：十分達成

B：概ね達成

C：検討の余地あり

D：不十分

重点目標	評価項目	具体的方策 又は 具体的指標	自己 評価	成果及び改善策	学校関係 者 評価	評価・具体的意見
②「心」を鍛え、育てる（心の教育の推進と充実）	②持続可能な社会の形成に参画できる教育の推進	○変化を前向きに捉え、人間らしく豊かに生活する社会を形成しようとする人材を育成する ○学校行事やボランティア活動等を積極的に推進し、地域の活性化に貢献する	A	○4月の歓迎遠足は伊勢ヶ浜を予定していたが、直前に大きな地震が発生して、急きょ校内に場所を変更した。生徒会総務が中心となり、レクレーションを変更するなどして柔軟に対応した結果、全校生徒が楽しめる充実した内容となった。クラスマッチでは、eスポーツを導入するなど、生徒の個性を多方面から引き出す方策を実践することが出来た。また、校則の見直しを積極的に進めており、人権や社会の変化に合わせた内容に精選して、改定施行していきたい。 ○「ボランティアの富島」と言っているほど、多くの生徒が積極的にボランティアに参加して、地域を支える活動をした。これらの経験を通して、自身の成長や自身につながっている。 ○学校家庭クラブの研究的活動では、社会福祉協議会の協力の下、保育・福祉・障害に関する地域の課題について研究を行っている。地域の方との交流で、様々な気づきが生徒たちの心の成長に繋がっている。 ○家庭クラブ役員が、月1回保育園や福祉施設、図書館でのボランティアの実施に向けて事前準備や集会を行った。他学年と一緒に活動することができた。	A	○日向市街中のイベントでも富島高校生が数多く活躍している。 ○限られた時間の中で、地域における貢献度は高く、生徒の地元を思う気持ちも育まれ、目標の達成につながる取り組みがされていると思います。 ○富島高校の生徒はボランティア活動へ積極的に参加する印象があります。地域の祭りやイベントには必ずと言っていいほど富校の生徒が活動しています。私たちの団体もかなりお世話になっているのが現状です。本当に感謝しております。担当の先生方もできるだけ地域との連携に関して積極的に取り組まれることを期待しています。 ○ボランティアを通していろいろな経験をすることで自身の成長につなげる活動は素晴らしいです。時代に合わせた校則の見直しも是非検討してください。
	③命を大切にする教育の推進	○あらゆる場面・機会をとらえて、安全指導等を実施し、自他の命を大切にする教育を推進する ○外部の団体や個人等に依頼し、命の大切さを再認識させる機会をつくる	B	○警察と連携して、ヘルメット着用推進活動を実施した(12/2～4)。生徒会総務と交通安全委員会を中心に、ヘルメット着用を促す活動をしており、少しずつ着用率が上がってきた。自転車の施錠率は指導を徹底した結果、百パーセントに近いところまできている。今後も生徒の危機管理意識を高めていきたい。 ○薬物乱用防止教室と情報モラル教室を実施した(6/5)。 昨年度SNS関係で大きな問題となったが、今年度は大きな問題やトラブルは発生していない。今後も様々な場面で啓発活動を行い未然防止に努めたい。	B	○情報モラル教育が功を奏し、トラブルがないというのは情報リテラシーも含めて向上していることが考えられる。 ○SNSの普及による問題も多く、大きな問題になることもあると思います。指導教育によって人権についても考える生徒さんになって欲しいです。 ○外部団体や個人の講師を招いて、多くの情報を生徒に提供していただくと、先生方から受ける情報とはまた違う気づきや学びを効果的に受けとめてくれると思います。さらなる充実をよろしくお願いいたします。 ○事の重大さを再度認識してもらい、再発防止に努めて欲しい。(SNS関係)
	④安全管理の徹底	○危機管理、防災対策に組織的に取り組み、学校の安全管理の徹底を図るとともに、生徒の危機回避能力を育成する	A	○避難訓練(地震・津波)では、避難後の人数掌握のために災害用掲示板を学校HP内に作成し、従来の掌握方法とは別な手段を実践した。また、2回目の避難訓練には地域の方々にも参加してもらい、学校が防災の拠点であることを再認識した。備蓄品については、物品や個数を確認し整理することができている。 ○防災講話を2回実施し、職員、生徒共に防災・減災に対する意識向上を図った。 ○県の事業への取り組みの一環として宮城県への視察に代表生徒5名が行き、震災学習や防災学習を深く学ぶことができた。 ○今年度中に正門前に避難誘導板を設置することで、発災時の速やかな避難を実現する準備ができた。	A	○地域の防災拠点であることが生徒にも浸透しているし、掌握方法をデジタルで考えている点も工夫がみられる。 一方、電源喪失、ネット環境混乱状況下での掌握方法も考えておきたい。 ○昨年発生した、能登地震などの災害を目の当たりにすると、防災意識も高まりますが、時間が経った後に、その意識を高いまま保てるかが課題と考えます。 ○地域の方々の参加はありがたいし、良いコミュニケーションの場にもなると思う。防災を通して人とのつながりを大切にする心を養って欲しい。
	⑤スクールリーダーの育成	○学校行事やホームルーム活動等を通してスクールリーダーの育成に努める ○体育大会や文化祭等の学校行事が生徒主体で動かせるように、生徒の組織を整えて動かす	B	○学科の連携やクラスリーダー、部活動のリーダー育成のために、定期的に指導をする機会が必要である。3年生のリーダーをメンターとして、グループで学校活性化のために活動できる方策を考えたい。 ○体育大会と文化祭が2週連続で実施され、その準備が心配されたが、団長やリーダー、クラス委員長らが中心となり、観客を魅了するすばらしい内容となった。文化祭では、文化委員の活用が課題となった。観る側の姿勢を重要視して、文化委員を主体的に動かし、出演者、観客が一体となった文化祭を目指したい。	B	○学校業行事の目的や意味を考え、生徒に活躍の場を与える発想を評価したい。 ○生徒1人1人が自主性を持って学校行事に取り組む姿を拝見しました。各委員会機能の充実のためには何が必要なのか具体的指標があると良いのかなと考えます。 ○リーダーシップに関しては、部活動や様々な行事・イベントを通して、実際経験しないと得られない能力であると思います。今後様々な行事を通して、多くの生徒がリーダー育成の場面に会えることを望みます。 ○大きなイベントが続きましたがとても素晴らしかったです。協力の大切さや課題を解決する力を養う良い機会だったと思います。

※ A：十分達成

B：概ね達成

C：検討の余地あり

D：不十分

				○リーダーシップを発揮し、集団を引っ張る生徒が各クラスでみられた。複数人で協力して、課題解決に向けて取り組む姿勢がみられた。 ○生徒会が中心となり学校行事を運営する取り組みができている。各委員会が機能し、さらに充実した活動となるようにしていきたい。		
	⑥特別支援教育体制の充実	○教育相談体制を充実させるとともに、関係機関と連携して特別支援教育体制の充実を図る	B	○生徒・職員からの相談に対して、教相部メンバーが親身になって受け止め必要な生徒へ支援を行った。また、相談件数・教相室登校のデータを集計し、管理職・養護教諭に報告した。 ○今年度からスクールソーシャルワーカーとスクールカウンセラーが配置され、生徒・担任への支援を行った。	B	○教育相談は、特別支援教育だけでなく、キャリアカウンセリングも含めて考えていきたい。 ○先生方の真摯な取り組みは素晴らしいと思います。 ○今年度よりスクールソーシャルワーカーも加わり、学校生活やこれからの進路など、悩み多い生徒たちをサポートする体制づくりや支援体制の構築がされているなと感じました。 ○連携した教育体制の充実はよりよい支援につながると思います。
	⑦豊かな心の育成	○読書や体験活動を通して豊かな心の育成に努める	A	○本年度は「朝読書定着による一日のルーティン確立」を重点目標として、職員の共通理解をもって取り組んだ。12月の生徒アンケートの結果、ルーティン確立できたと回答した割合は94.5%と非常に高かった。また、本年度初めて全学年の図書館終礼を実施し、読書の推進を図った。1月にはLHRで「ブックトーク」を実施予定である。	A	○とても素晴らしい取り組みで、今後市立の図書館建設などにも提言できるような高校生としての要望も聞いてみたい。 ○特色ある取り組みを推進されていて引き続き心の育成に大きな意義があると思います。 ○朝読書を定着させたことは素晴らしいと思います。生徒相互に有益な本などの情報共有を行うと、さらに広がりをもせる気がします。 ○ルーティンになるとこっちのものです。素晴らしい取り組みです。
(3)「体」を鍛え、伸ばす(体の育成と食育・健康教育の推進)	①健康教育や安全管理の充実	○生徒の個々の状況に合わせた心身の健康教育や安全管理の充実を図る ○生涯にわたる健康の保持・増進のための教育の推進を図る	B	○健康講話は、自分の生き方・在り方について考えを深める良い機会となった。生徒の実態に応じた講話で、生徒の参考になったと思われる。また、講話後などの担任によるフォローで、自分の身体・心に対しての関心がより高まった。 ○保健室との連携をはじめ、日々の会話や観察により、生徒の小さな変化にも気づくことができている。また、教育相談部との連携も、充実してきた。	B	○丁寧な取り組みだと思う。 ○成果が目に見えにくく難しい評価項目ですが、生徒1人1人に連携して対応することが重要だと思います。 ○生徒の体調管理や精神的なケアも含めて、保健室、クラスや外部の支援体制の連携が重要であると思います。
	②豊かな人間関係を育む	○部活動や学校行事等を通して自己の鍛錬と個性の伸長を図り、リーダーの育成に取り組むとともに豊かな人間関係を育む	B	○部活動の活性化は本校の活性化に必要な要素である。体育系や文化系を問わず、部活動に熱心に取り組む、学校生活を充実させることが、心豊かな人間性の育成につながる。部活動の成果も少しずつ出てきて、結果として表れてきている。一方、部活動加入率が下がってきており、学校外の活動に目を向ける生徒が増えてきた。部活動間の横の連携を強化しながら、職員も生徒も生き生きと活動できる部活動を目指していきたい。部活動活性化のための手立て(施設面や指導方法等)についても積極的に検討したい。	B	○今後、民間人活用を考えたい。 例えば、毎週特定曜日に体作りのトレーナーを招聘するなどし、部活動の枠を外した取り組みをし、教師の働き方改革にもつなげたい。 ○先生方への働き方改革も訴えられている中、部活動の充実は大変苦勞されていると思います。 ○先生方の部活動に向ける時間も制限がある中、課題も多くあるでしょうが、リーダー育成や成功体験の獲得などの面から部活動活性化を推進いただけるとありがたいです。
	③感染症に負けない健康習慣を実践する	○5類感染症移行後もその場の感染リスクに応じた適切な感染症防止に努める意識や態度を育てる	B	○登校前の自宅での検温・健康観察を実施することで、自分の体調の変化にも意識を持たせることができ、健康管理ができるように習慣化されてきている。 ○個人の判断で、マスク着用や手指消毒の徹底が、定着してきた。室内換気についても、実践できるようになってきている。	B	○保護者や生徒自身の意識の高揚に期待したい。 ○5類感染症移行後の学校のあり方として、意識付けが出来ていると感じました。